

実施報告「第 22 回情報処理センター等担当者技術研究会」

高橋直子

名古屋工業大学技術グループ共同利用チーム

1. はじめに

平成 22 年 9 月 16 日・17 日に名古屋工業大学において「第 22 回情報処理センター等担当者技術研究会」(以下、giken22)を開催した。名古屋工業大学情報基盤センターが主催し、技術グループが協賛した。「担当者技術研究会」という会の性質上、情報基盤センター担当の技術職員によって実行委員会を立ち上げた。名古屋工業大学では、技術グループに所属する職員は、業務依頼を受けて各部署にて業務を行う組織体系である。その為、情報基盤センター以外の技術職員が研究会スタッフとして業務できるよう、技術グループが協賛するという形で、支援体制を整備した。

筆者は、技術グループの一員であるが、情報基盤センター担当の技術職員として giken22 の実行委員会に参加した。第 16 回静岡大学技術報告会において、giken22 実施報告の機会を得たので、ここに報告する。

2. 情報処理センター等担当者技術研究会とは

この研究会は、各国立大学法人情報系センター等の担当職員が最新の情報技術や情報システムの管理運用等に関する研究発表、現状報告、意見交換を通じて自己研鑽し、さらに職員相互の交流を深める情報収集の場を提供することを目的としている。

近年では、国立大学に絞らず公立・私立・高専にも参加者もつのも、大学組織を越えて、情報処理センター等のスタッフが集まる、情報処理センター等における実務上の課題を中心テーマとした数少ない全国規模の技術研究会として、その果たす役割は益々重要なものとなってきている。

3. 参加人数等

参加機関数 53 校、参加者総数 91 名で、内訳は下表のとおりであった。

表 1 参加者等内訳

参加者別内訳		参加形態別内訳		備考	主催者側スタッフの内訳	
技術職員	76	発表する	17	(スタッフ 3 名含む)	情報基盤センター技術職員	8
事務職員	12	聴講のみ	52		同 事務職員・技術補佐員	2
教員	2	閲覧のみ	5		学術情報チーム事務職員	2
その他	1	スタッフ	17	(+ 発表 3 名)	協賛：技術グループ技術職員	8

4. 研究会内容

研究会の主な内容を表 2 に示す。意見交換会では、今後の開催校選出方法について議論された。

表 2 研究会内容

開会挨拶	国立大学法人 名古屋工業大学	学長 高橋 実	高橋学長急用により、梅原秀哲理事が代理
基調講演	国立大学法人 名古屋工業大学	センター長 松尾 啓志	大学における情報基盤の構築と技術系職員への期待
研究発表 6 件	国立大学法人 鳥取大学	宮田 直輝	IP-PBX を用いた安全な業務支援システムと IP 電話網の構築
	国立大学法人 名古屋工業大学	石川 茂	Sun Java System による SSO/統一認証基盤システム

	国立大学法人 名古屋工業大学	伊藤 崇博	研修：ASP.NET を用いた Web アプリケーションの開発
	国立大学法人 名古屋工業大学	大曾根 康裕	データ連携(ETL)ツールを活用した情報基盤システムでの情報連携
	国立大学法人 埼玉大学	小川 康一	光ファイバケーブル接続技術の習得 - FTTL を支えるインフラメンテナンス手法の確立に向けて -
	国立大学法人 岐阜大学	田中 昌二	自家製ツールによる業務効率化の功罪
現状 報告 11 件	国立大学法人 お茶の水女子大学	海田 美香	2009 年度システム更新について
	国立大学法人 京都工芸繊維大学	川端 勝己	京都工芸繊維大学の新計算機システム(System8)の特徴
	国立大学法人 富山大学	山田 純一	富山大学におけるネットワークの現状
	学校法人 成城大学	五十嵐 一浩	GAKUNIN への参加について
	国立大学法人 室蘭工業大学	若杉 清仁	メールシステムの更新について
	国立大学法人 鹿児島大学	相羽 俊生	公衆無線 LAN 環境の整備について
	国立大学法人 長崎大学	長崎 隆志	長崎大学情報通信基盤システムの導入について
	国立大学法人 電気通信大学	石井 和広	学内無線 LAN の更新について
	国立大学法人 電気通信大学	大西 邦弘	電気通信大学のシステムについて
	国立大学法人 横浜国立大学	森 雅一	情報セキュリティ向上対策と新たなサービスへの取り組み
国立大学法人 奈良先端科学技術大学院大学	小山 琢也	シンクライアントシステムについて	
意見 交換 会	国立大学法人 岐阜大学	田中 昌二	テーマ1：全体参加者のメーリングリスト 今後の管理とメンテナンス
	国立大学法人 横浜国立大学	森 雅一	テーマ2：今後の開催校選出(方法)について
閉会 挨拶	国立大学法人 名古屋工業大学	高橋 直子	第 22 回情報処理センター等担当者技術研究会実行委員会委員長
施設 見学 会	国立大学法人 名古屋工業大学	高橋 直子	A：教育用システム系
	国立大学法人 名古屋工業大学	高木 弘	B：ネットワーク系
	国立大学法人 名古屋工業大学	若松 慎三 石丸 宏一	C：サーバ・シンクラ系

5. 研究会の様子と近年の各参加機関の状況等まとめ

ウェブでの参加登録および資料提示システム、電子ペーパー(PDF ビューア)、ゲスト用無線 LAN などについても積極的に利用され、同じ情報基盤(インフラ整備)に携わる教職員としての関心の高さが伺えた。担当者の交流によって、各大学での問題点について解決の糸口となるような有用な情報が得られた。また、近年の動向として、ID の統一化、生涯電子メールサービス、無線 LAN(公衆・ゲスト用)に関しても、高い関心が示された。今後のシステム更新に参考となる情報収集等については、研究会終了後すでに全体参加者のメーリングリストや SNS を用いた活発な議論が展開されている。

6. 次期開催校

来年度の開催校は、国立大学法人室蘭工業大学 とすることが承認された。今後の開催校選出(方法)には、全国を数ブロックに分け、ブロック単位で候補を選出し、数年先までの開催校の見通しを立てる方法が承認された。giken22 開催から 3 カ月で第 24 回の開催校の目処が立っている。

7. おわりに

第 16 回静岡大学技術報告会において、giken22 の実施報告をする機会を与えていただき、お世話になった静岡大学の皆さまに感謝いたします。ありがとうございました。